

## ■ご挨拶■



### 第72回日本医学放射線学会総会を開催するにあたって

第72回日本医学放射線学会総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今回の総会では、「Creation, Innovation, and Globalization 一知の創造、技の革新、そして世界へ」をメインテーマとしました。放射線医療のめざましい進歩はご存知の通りです。真理の探究と知の創造は、医学が科学である以上、我々は常に求めなければなりません。「知の創造」とは新しいことを発見することであり、科学とはそれに取り組み行動です。結果として得られた科学的知見を具現化する行動が技術であり、それを医師として患者へ還元する行為もまた技術です。個々の知性が新たな創造を生み出します。優れた叡智を結集し、具現化してこそ、「技術や技能の革新」が可能となり、それを継承してこそ、有意の人材を「世界へ」輩出することができるのだと思います。放射線医学が医学全般を牽引し、さらには我が国の放射線科医が世界の放射線医学をリードする。そのような願いを込めたメインテーマです。

学会の構成、運営に関しましては、従来の方法を踏襲しています。合同開会式で弦楽アンサンブル演奏、JRC傘下3学会会長挨拶と基調講演、Molecular cancer imagingをテーマとしたNew Horizons Lectureを予定しています。JRC合同シンポジウムでは、「進化する画像モダリティとその臨床応用および今後の展望」として、最新の撮像技術情報の提供、臨床応用と今後の活用についての講演により、将来への方向性を示していただきます。その他、「コンピュータ支援診断」、「医学物理におけるイノベティブテクノロジー」も企画されています。また、我が国の放射線科医が世界の放射線医学をリードすることを願い、「グローバル人育成に向けて」という合同企画を設けました。USMLEの取得方法、企業におけるグローバル人材の育成方法、放射線技術の国際化など、人材育成に向けて参考となる内容となっています。また、海外で放射線科医として活躍されている先生にも講演をお願いしています。特別企画として、研究の国際化へ向けて、統計学的考え方、国際学会での発表方法、英語論文の書き方などについて、JJRやRadiologyのeditorはじめ国内外の先生方の講演を予定しています。11題のシンポジウムを組んでいますが、新しいイメージング手法に加え、Oncology Image、トレーサーの動向、IVR、粒子線治療など、最新知見の情報が提供できるものと考えます。

日本医学放射線学会は、国際化へ向かって大きく舵をきりました。多くの放射線科医が国際舞台で活躍するきっかけを作ることも、学会の重要な役割です。そのため、今回は、これまで以上に、海外から多くの専門家にご参加いただくことにしています。欧米・アジアを中心に、各国の放射線学会のPresidentはじめ学会を代表する方々、約50名に出席いただきます。ご専門の各分野でKeynote lectureとしてご講演いただく予定です。今回は、敢えてインターナショナルセッションを設けていません。海外からの一般演題は国内演題と区別せず、モザイク状に配置しております。そのため、セッションによっては英語となるものもあります。前回大会で口演スライドを英語表記としましたが、今回はCyPosも英語表記をお願いしました。英語口演の数もかなり増えています。

今年度は研修医セミナーを若干アレンジしました。講師の先生には、系統立った疾患の説明ではなく、症例提示からはじまり、所見のとり方、診断までの構想過程をcase presentationの形式で講義していただきます。教科書では学習できない内容が多く含まれており、画像診断の醍醐味を研修医諸君が味わってくれると信じています。教育講演やイメージインタープリテーションは例年同様のスタイルで開催いたします。また、会場内でのWi-Fiエリアを拡張し、Myスケジュール機能、抄録のダウンロードも可能となります。

皆様のご支援により本総会が開催できることは言うまでもありません。特別講演、シンポジウム、基調講演、教育講演をお引き受けいただいた皆様、一般演題をご登録いただいた皆様、様々な面でサポート賜りました企業の皆様に、改めて御礼申し上げます。

最後に、学会の準備作業を進めるに際してご尽力いただきましたJRC事務局、JRS事務局、日本コンベンションサービス(JCS)事務局の皆様方、浅山良樹実行委員長、西江昭弘プログラム委員長をはじめとする教室員一同に、心より感謝いたします。

皆様と、横浜でお会いできることを楽しみにしております。

第72回日本医学放射線学会総会 会長  
九州大学医学研究院臨床放射線科学分野 教授  
本田 浩